



たちばな祭、生徒たちは大きく成長！

10月26日(水)に予定されていた「たちばな祭」は、3年生の日程変更はあったものの、全学級が合唱し、たちばな祭を通して、生徒たちは大きく成長しました。

今年度も、安全対策のため学年別開催となり、1・2年生は当初、練習方法や気持ちの高め方など、なかなかうまくできずにいた学級もありました。しかしながら、生徒たちは本当によく頑張りと、特に中間発表以降の取組の変化には、目を見張るものがありました。目指すものが見えたときの生徒の力の大きさには、私たち大人も本当に驚かされます。合唱としてはまだまだ先輩からも学ぶことがたくさんありますが、来年のたちばな祭に向けて、大きな可能性を感じました。

たちばな祭実行委員も、学級のリーダーや当日の運営役として精一杯活躍できました。一人一人の生徒が、それぞれの立場で役割を果たしたからこそ、達成感が得られたと思います。そのような頑張りを学校でも称賛し、今後につなげたいと思います。

今回、3年生は、開催日変更をとおして、また一段と成長できたと考えております。それは、3年生が、たちばな祭の開催日に関わることにについて、「仲間」を意識し、主体的に話し合う姿が見られたからです。閉鎖となった学級を棄権の扱いにして残りの学級で実施するか、別日に延期をするか、生徒は真剣に考え、様々な意見を出していました。満場一致で決まったわけではありません。いろいろな可能性を考え、最終的な判断を学級ごとに行っていました。そこに、大きな価値があったと、私たちは考えています。

また、学級閉鎖が開けて、全学級そろってからの3年生の合唱練習には、心底驚かされました。閉鎖後の2日間の練習時間を有効に活用し、懸命に練習するその姿が印象的でした。3年5組が金賞を勝ち取ることとなりましたが、どの学級も成長は著しいものでした。さすが3年生!の一言です。後輩たちにも、その素晴らしい周南中の伝統を引き継いでもらいたいと思っています。



たちばな祭・合唱コンクールへの御理解、御協力ありがとうございました。コロナ禍、子供たちの安全と学びを守るためとは言いながら、2～3曲しか聴いていただくことができなかったり、3年生が学級閉鎖のため急遽延期となったり、学校としても大変申し訳なく思っています。期間限定になりますが、YouTube 配信をしますので案内を御確認ください。また、3年生は卒業記念品として例年 DVD を制作していますことも御承知ください。

たちばな祭の開会式で校長のあいさつが長すぎるというお叱りがありました。その通りで、申し訳なく思うのですが、合唱コンクールなどの学校行事の意味がコロナ禍以前とは、大きく変わってきたということを御説明したいということが根底にありました。持続可能な社会の創り手を育てるため、学校教育は大きな転換期にあります。特に中学校は大きく変わらなければなりません。誰も経験したことのないような課題に対して、多様な立場や意見を尊重しつつ、主体的にみんな考え納得解を求め行動していく態度が、これからの社会では求められています。生徒たちは、少しずつですが、確実にその力をつけつつあると、たちばな祭に関わる生徒の姿を見て、より感じています。今後とも御理解・御協力をお願いいたします。

たちばな祭の様子



「レッツチャレンジ！ウイズメディア」への取り組み

「レッツチャレンジ！ウイズメディア」とは、周南たちばな学園で、メディアの使い方について振り返る時間を設定し、どんなことが実践できるか考えるように取り組んでいるものです。メディアは、私たちの生活に切り離せないものとなっています。そのため、メディアを「絶対見ない！やらない！」ではなく、各家庭で子どもと一緒にルールを決め、実践していく中で、子ども自身が上手にメディアを活用し生活していくことができるようになっていくことをねらっています。

これからの世の中でよりよく生きるために、多くの御家庭で是非実践してみてください。右のQRコードで資料を閲覧できますので、参考にしてください。

